

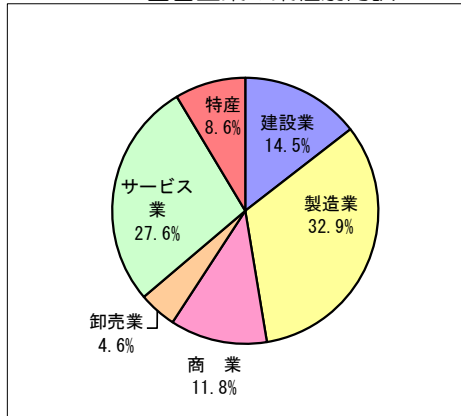
小野商工会議所会員事業所 景気調査（2023年第4四半期）集計結果

2024年1月31日

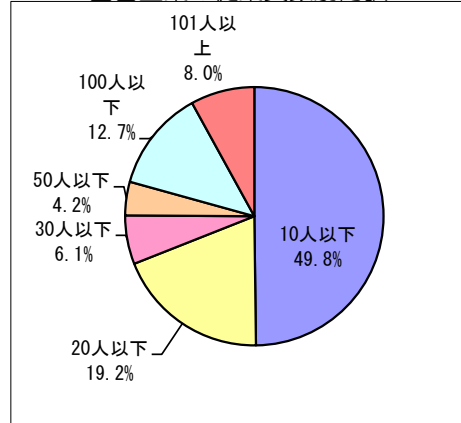
アンケート回答企業数 152社 （アンケート送付数 213社）
 回収率 71.4%

調査対象期間 2023年10月～12月
 比較対象期間 前年同期 2022年10月～12月
 前 期 2023年7月～9月
 来 期 2024年1月～3月

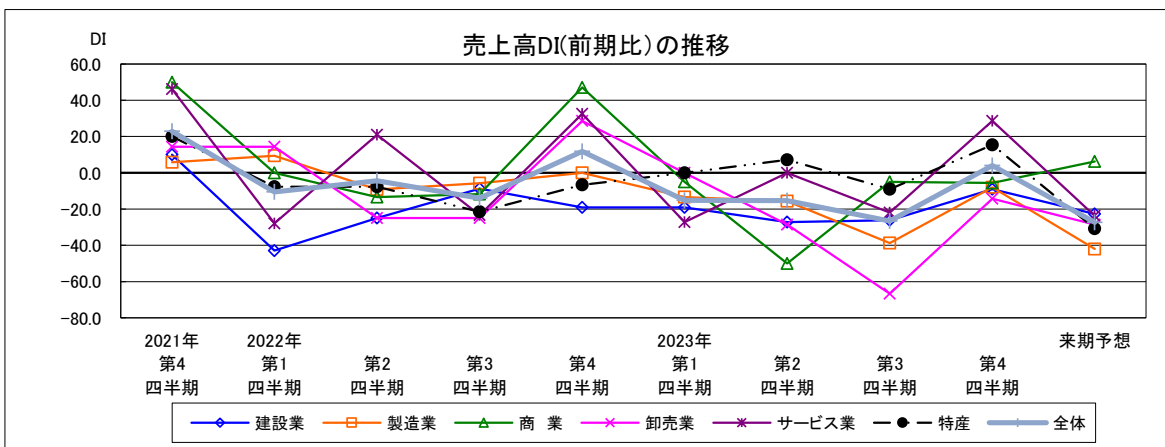
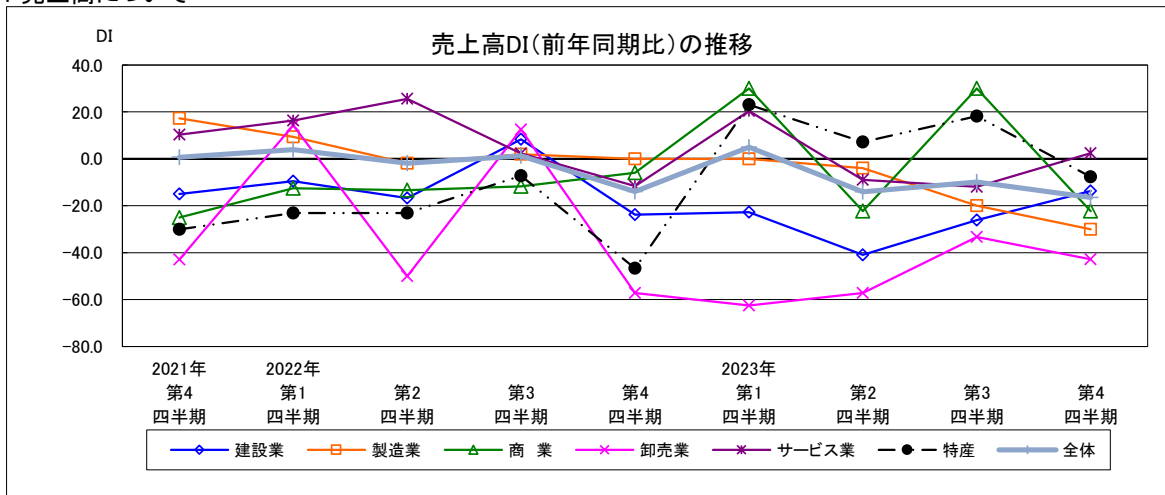
回答企業の業種別内訳



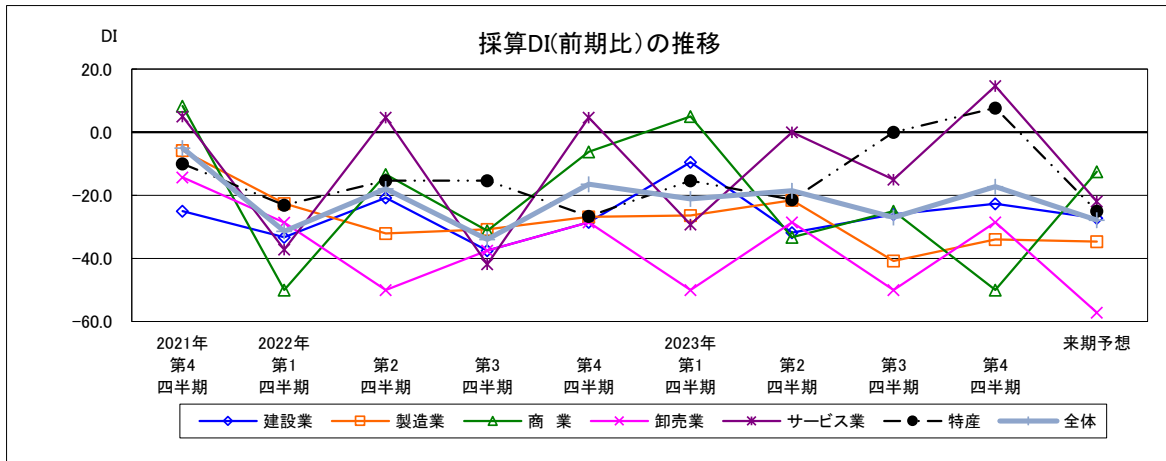
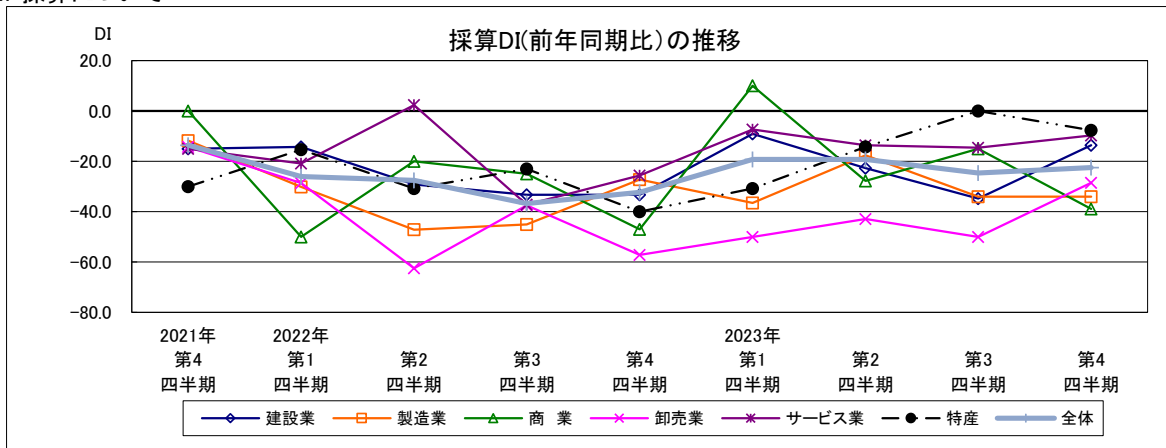
回答企業の従業員数別内訳



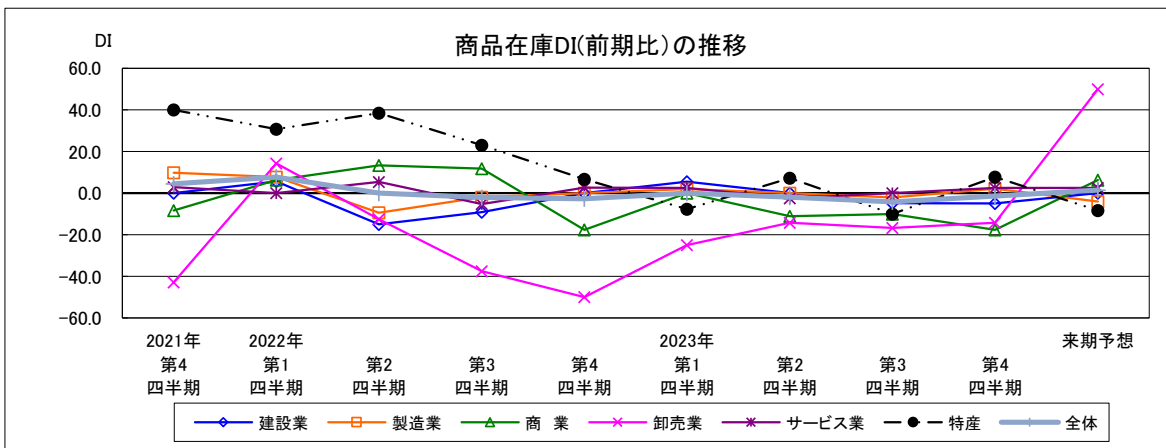
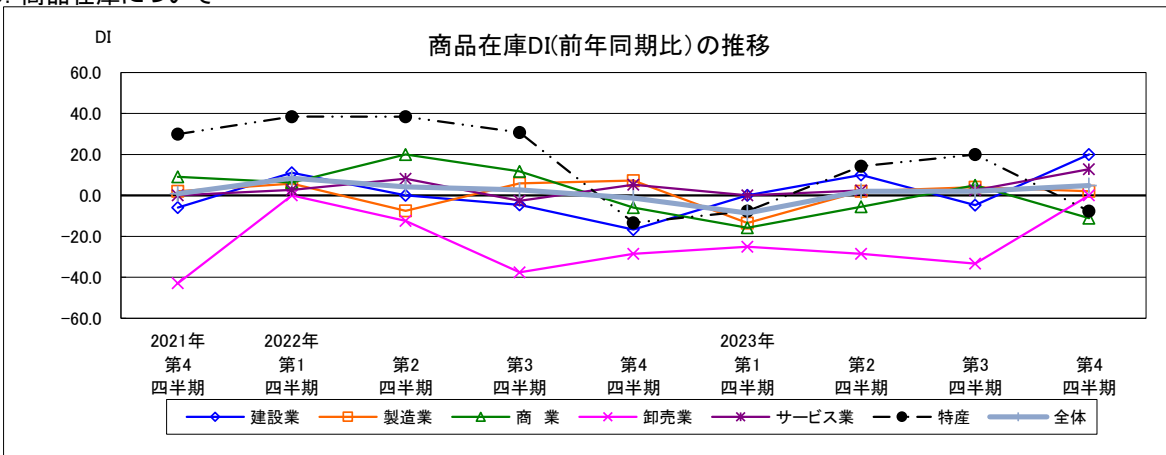
1. 売上高について



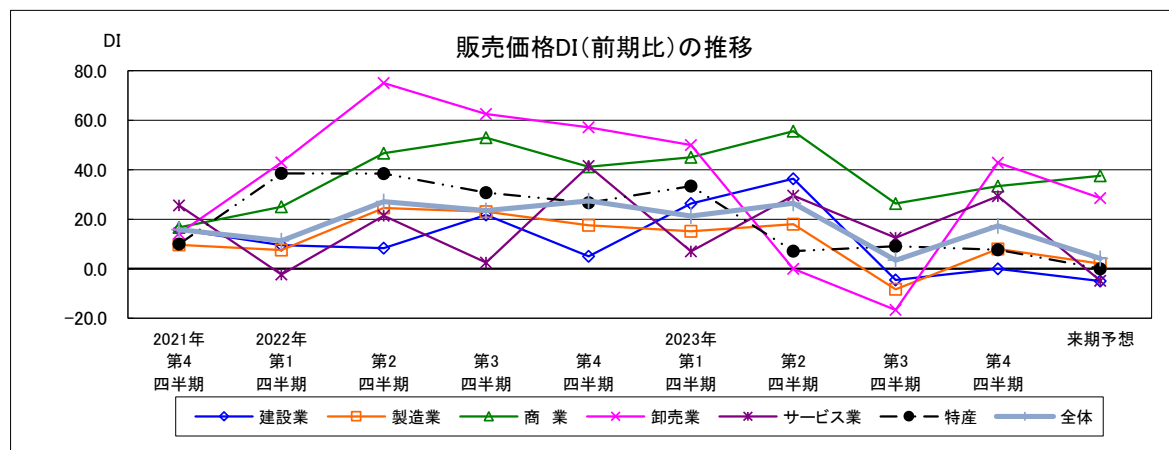
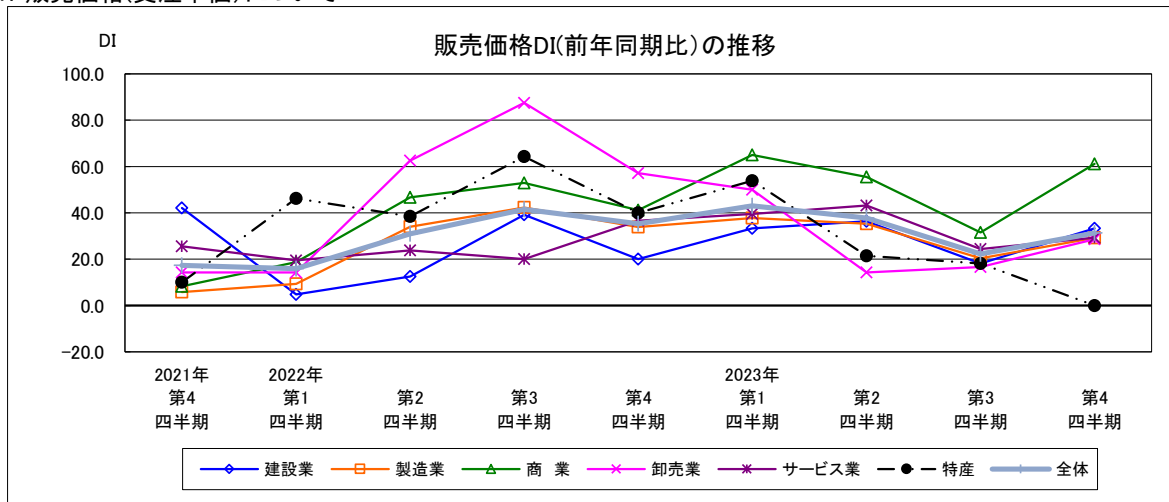
2. 採算について



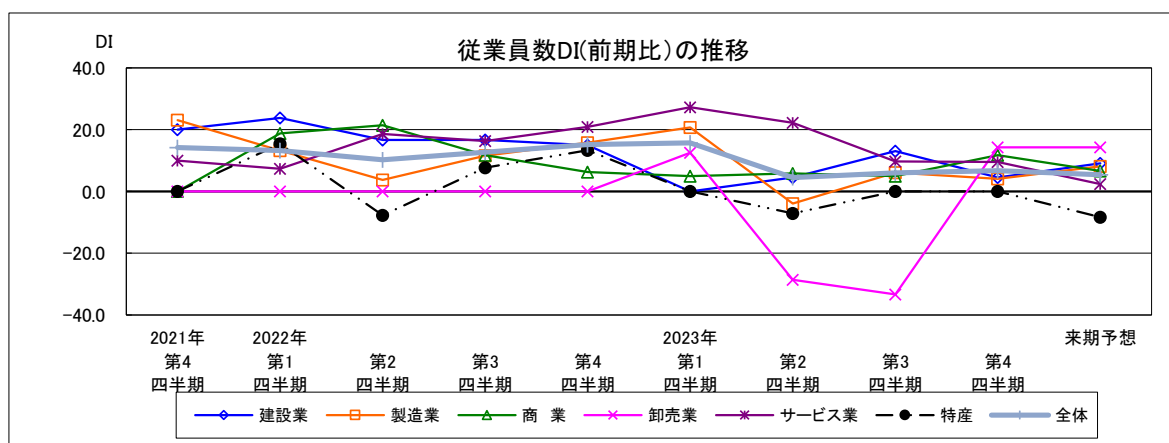
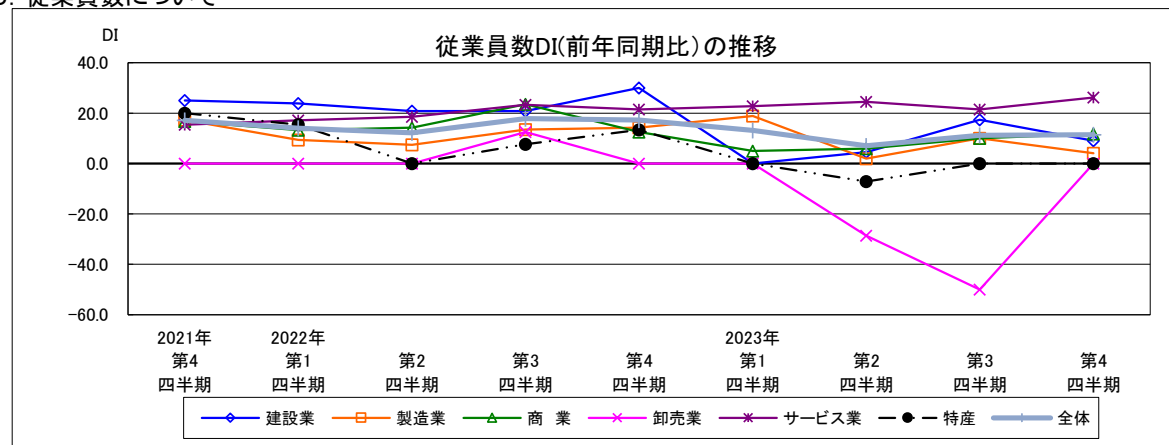
3. 商品在庫について



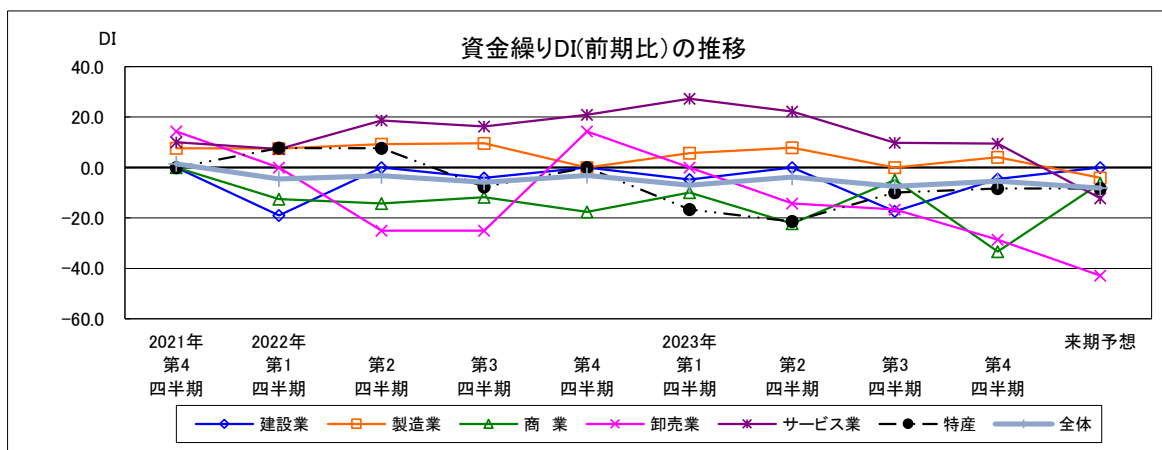
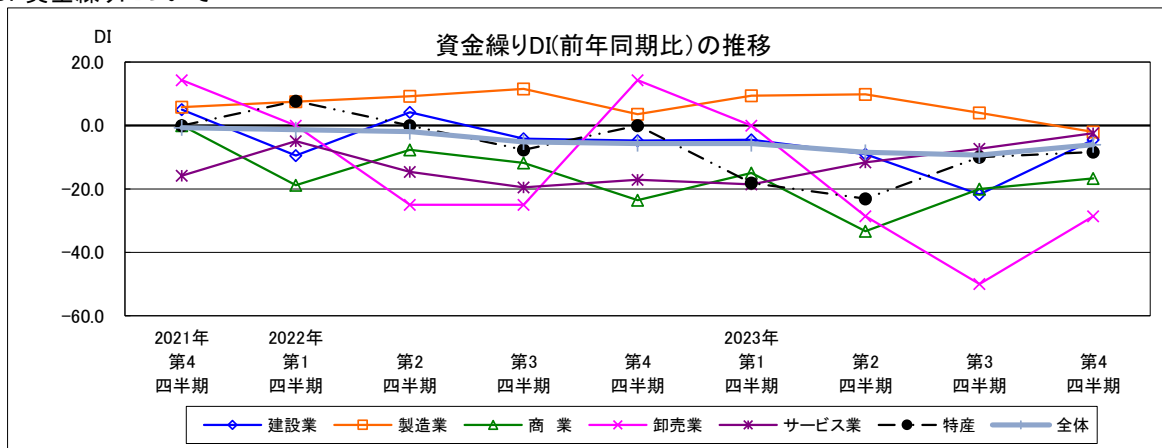
4. 販売価格(受注単価)について



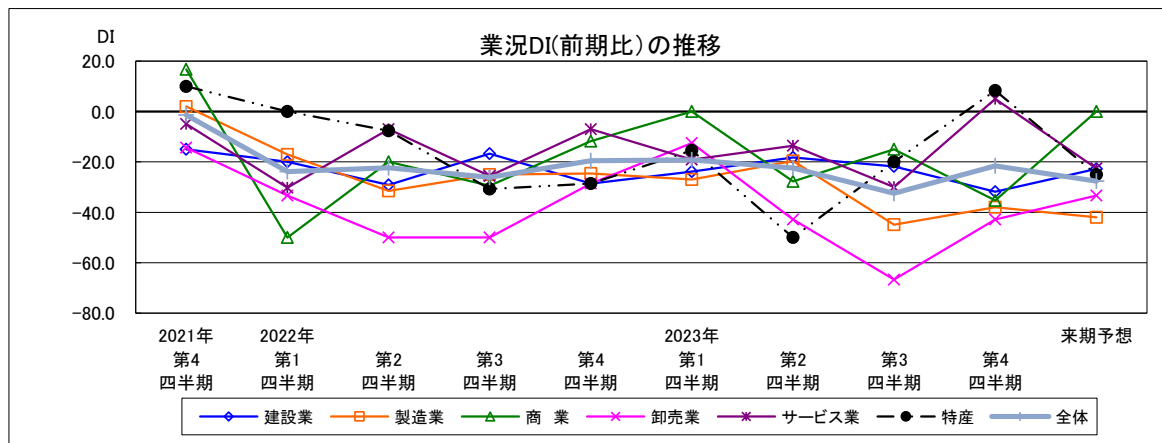
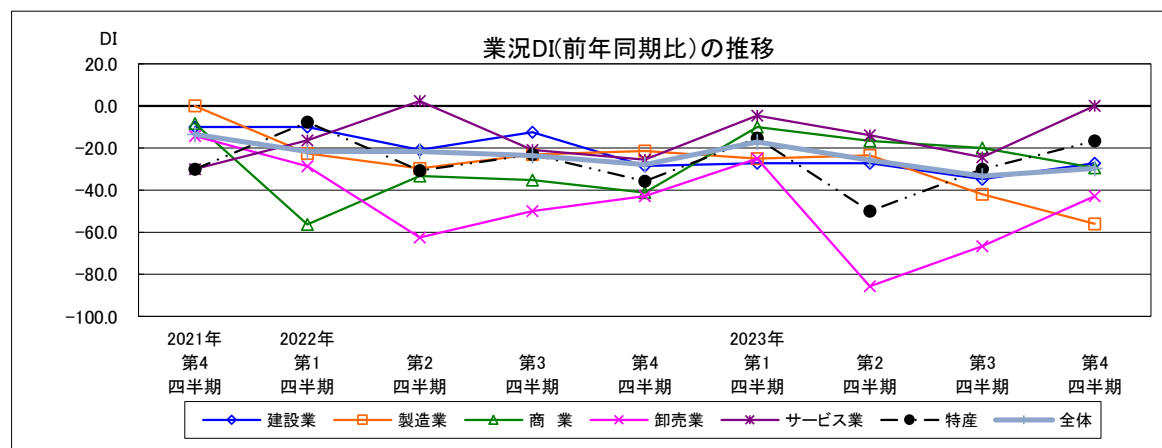
5. 従業員数について



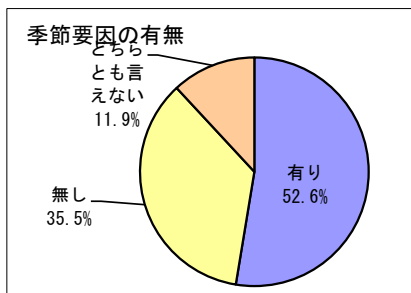
6. 資金繰りについて



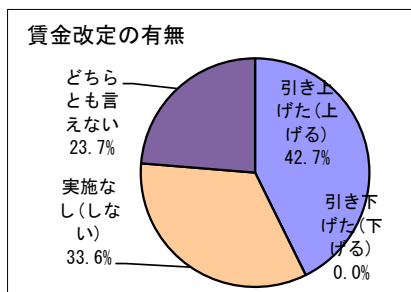
7. 業況について



8. 1～7の項目について季節要因による変動はありますか。



9. 物価上昇に伴う賃金の改定をしましたか（予定はありますか）。



10. 以下は、頂いたコメントの一部を紹介しています。

○建設業

- 仕入れ原材料の高騰が止まらず、販売価格も追いついていない状況である。製品販売量の低下も収益に響いている。
- 公共工事は順調ですが、一戸建て住宅や消費者直の工事が減少している。物価高で状況は悪いと思う。
- 宮工庁工事は堅調であるが、東播磨道やバイパス工事が完成すると、この地域の発注が減少することが懸念される。

○製造

- コロナからの回復に温度差があり、取引先からの受注状況は明暗が分かれている。物価高騰への採算是正による値上げは当面高止まりで継続すると見通す。
- 4. 販売価格 昨年に比べると徐々にですが、単価アップ、さらに交渉中です(製品点数が多く、すべては難しい)
- 2. 採算 材料価格が高騰し、売値が合わないので少しずつ利益悪化(価格高騰は予想以上)
- 2024年も我々の業種は大きな変動は無いと思います。本年も廃業するところは多いと思う。
- 動力費、電力費はやや上昇。年内での利益は確保の見込み。在庫調整で生産が2割減った。
- 国内景気は非常に低下してきている。エネルギーコストの増加、製造コストは協商で値上げ、景気の行先はどうなるのか？
- 価格改正しているのでも売上は増えているが、仕事量は減少している。
- 数年ぶりに先行き不安定な受注状態です。今後の対策をしっかりとしなくてはと思っています。
- 得意先の景気も良くない為、必要な分しか発注がない、新しい得意先を紹介してもらっているが、発注数が少なく、売上回復に至らない。

○商業

- 業態にあった従業員の確保
- 資材、その他の値上げによる顧客数の減少が…タイミングが難しい。

○卸売

- 運賃の値上・ガソリン価格の上昇で経費がかなり上昇しているので、なかなか賃金の引上げができないのが現状です。
- ネット販売を手掛けているので、数年(令和3～4年)は巣ごもり需要で売上と利益ともにUPしたが、その後為替相場(円安の傾向)で苦戦している。現在一将より下落の割合(売上げの減、利益の減少)が緩やかになってきているように思うので、とりあえず、経営は費用効果で切り抜きたいと考えてます。

○サービス

- 2月上旬まで順調に来ていた仕事の依頼が中旬以降急激に減少しました。能登半島地震で消費者心理がさらに冷え込んでいるようで1月は苦戦を強いられています。
- 代行やタクシーが夜遅くはないということもあり、遅い時間の来店のお客様がほとんどなく早い時間に集中する傾向にあるので、コロナ前のような売上には伸びません。
- 貸切バスの運転手不足が深刻な状況である。
- 予約は増えても客単価が減少している。
- 仕入価格やサービスの価格が上がることで、販売価格を上げたが粗利が変わらず、物価高騰により、総合的にマイナス傾向にある。

○特産

- 今は鋏が仕入れ次第売れてしまう。なぜだか分からないが家に買いに来る人や電話で買いたいという人が増えた。
- 値上げによる買い控えが著しい